

12月になるといろいろな感染症が流行してきます。なかでもインフルエンザは12月中旬より流行はじめ、ノロウイルスは、12月が流行ピークを迎える為、十分な注意が必要です。
デイサービスセンターうたしでは利用者様への感染を防ぐため、また、ご自分で感染予防ができるようになる為に、健康教室を開き、感染症をご理解して頂き、日常生活に役立てていただけるよう取り組んでいます。

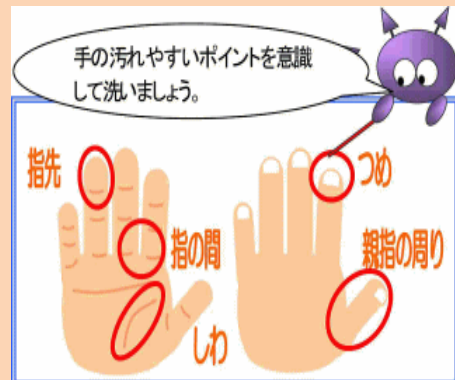
看護師：小出杏彌



インフルエンザやノロウイルスなどは、人の手を介して体内に入り、感染を引き起こします。
そこで、手洗いが習慣付くよう、外出した後や昼食前に、ご利用者様へ手洗いを実施してもらい、感染予防に努めて頂いています。
取り組み当初は、手洗いがなかなか浸透しませんでした。他利用者様が手洗いをされている姿をみられたり、健康教室を続けることで、ご自分で手洗いをされる方が増えてきました。
今では、ご利用者様同士で話をされ、手洗いに行かれたり、お互いに手指消毒をし合ったりと利用者様が進んで手洗いに行かれる姿がみられるようになりました。



足が悪く、歩くことが困難な方には、私たちが支援させて頂きながら、洗面所まで一緒に歩いたり、片麻痺のある方や指先が思うように動かない方には、十分に石鹸で洗えるように、泡石鹸を使用、なるべくご自分で洗って頂き、できない部分のみ介助させて頂いています。
今後ご利用者が、ご自分で健康管理ができるようになるために、利用者様に合わせた支援をしていきます。今後ともよろしくお願いたします。



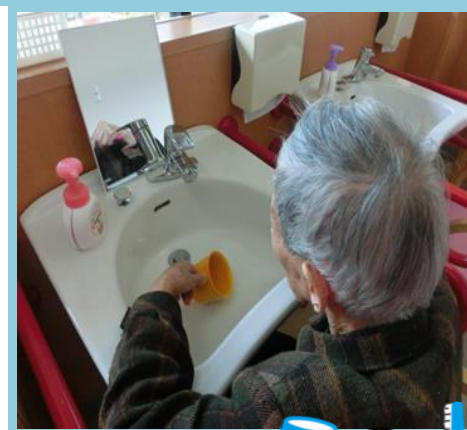
言語聴覚士：野崎美香

高齢になるとかかりやすくなる病気は肺炎です。その肺炎の70%は誤嚥性肺炎だと言われています。
誤嚥性肺炎とは細菌が唾液や食べ物などと一緒に肺に流れ込み感染する病気です。デイサービスセンターうたしでは、誤嚥性肺炎を予防するために、口腔ケアを行っています。
口の中を清潔にすることで、菌を減らし、発症するリスクを減らしています。その為、食後の歯磨きを習慣化し、ご自分で感染予防として取り組めるよう支援しています。



以前は、昼食後に歯磨きに行くことのなかったK様です。
『俺は家で磨いているからいい！』『俺はよかよ！』と言われるK様。
口の中を清潔にすることの大切さ、歯を磨くことの大切さをご説明し、まずは、洗面所で口をゆすぐことからスタートしました。スタッフが何度も何度も声掛けし、重い腰を上げられ、洗面所に向かうT様でしたが、他利用者様が歯を磨いている姿を見て自ら洗面所に行き、歯を磨くようになりました。新しいことを習慣化することは難しいことですが、スタッフが繰り返し声掛けを行ったこと、又、周囲の雰囲気により主体的な行動につながったと思います。これからは食後の歯磨きが習慣化されるよう取り組んでいきます。

鏡をみながら歯磨きができるようになった様。以前は歯の間に汚れが付着し、きれいに汚れがとれていない状態でした。口の中の清潔を保つため、まずは食後の歯磨きを習慣化することから始めました。
そこで、スタッフは、鏡を用意し、利用者様と一緒に歯磨きをしました。始めは毎回介助しながら歯磨きをしていましたが、徐々に食後洗面所に行くことが定着し、鏡をみながらご自分で歯磨きができるようになりました。多少汚れは残っていますので、スタッフが汚れを落としています。歯磨きを始めたころと比べるとご自分でできることが増えてきています。また、口の中がきれいになったことで、食欲が増し、ご飯をたくさん食べられるようになりました。



口腔ケアは誤嚥性肺炎予防の第一歩です。うたしでは、食後の歯磨きの習慣化を目指し、疾病の予防に努めるとともに、ご利用者様がご自分で歯磨きができ、健康管理に繋がるよう取り組んでいきます。



←ホームページはコチラ
<http://www.utashi-day.com>
フェイスブックはコチラ→



※ホームページやフェイスブックからもうたしの情報を配信しております。ぜひご覧ください。